

産地生産基盤パワーアップ事業(収益性向上対策)評価書

都道府県名	事業実施地区数(ア) <sup>※1</sup>	評価対象外地区数(イ) <sup>※2</sup>	評価対象地区数(ア-イ)	成果目標の平均達成率 <sup>※3</sup>	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	評価対象外の地区がある場合、その代表的な理由	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
熊本県	10	0	10	58.8%	5	有	4	-	<p>本県において今回の事業評価対象となった10地区のうち、5地区が成果目標を達成(達成率90%)しており、当該事業の実施が産地の生産力の向上に繋がっている。</p> <p>しかし、成果目標が未達成となった残る5地区については、今後ヒアリング等を実施し未達成要因を分析するとともに、関係機関と連携しながら、品値向上や収量増加に向けた指導及び成果目標達成に向けた取組の推進を図っていく。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し58.8%であり、目標は達成されていない。</p> <p>このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け要因分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者から指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、熊本県が改善措置を必要とした地区(達成率90%未満)の概要は、5地区である。</p> <p>〈参考:成果目標未達成地区の概要〉</p> <p>【水稲大豆えごまそば】1地区 評価対象の1地区については、そばの播種時期に大雨が降ったことにより、発芽不良となり大幅に収量が減少したことから、10a当たり販売額が落ち込み、「販売額増加の目標」が未達成となった。</p> <p>【大豆】1地区 評価対象の1地区については、湯水の影響により、発芽不良等が発生し、収量が減少したことから、10a当たり販売額が落ち込み、「販売額増加の目標」が未達成となった。</p> <p>【野菜】1地区 評価対象地区について、夏場の高温等の影響により生育障害みられ、収量が伸び悩んだため「販売額増加の目標」が未達成となった。</p> <p>【果樹】2地区 評価対象の2地区について、共に夏秋季の高温や乾燥による被害、栽培面積の減少により収量が大きく減少したことから、「販売額増加の目標」が未達成となった。</p>

※1評価年度を迎えた地区数を記載する。(中間評価は除く。)

※2評価対象外地区数については、天災等の外部的要因により、評価対象と判断されなかったものについて記入する。

※3小数点第1位まで記載する。(小数点第2位切捨て)